

フィリピン新年度の始まりです！

フィリピン学用品支援キャンペーン



フィリピンの新年度は、6月から始まります。できる範囲で構いませんので、学用品などのご支援をよろしくお願いいたします。

先日、ひとりのスポンサーから、「子どもからの手紙に、大学に進学したいと書かれていたので、まだ先の話ですが、今からお金を貯めておきたいのです。いくら必要か教えてください」というお電話をいただきました。自分のことで精一杯の方が多く時代に、まとまった額の就学支援をしてくださるのは大きな犠牲を伴うものです。本当にありがたくて胸の詰まる思いでした。

実は、フィリピンだけでなく、スラムに住む子どもたちにとって、学校に通い続けることは、その後の人生が全く変わるほど大きな意味があります。

日本では見たこともないほど巨大なスラムに住む子どもにとって、出会う人々、周りにいる人々は全てスラムの住人です。それ以外の生活を見たことがないので、自分の境遇も将来も、それで普通だと思っているのです。学校にも行かずに、1日中ゴミ捨て場をあさって食べられそうな物や売れそうな物を探し、小銭稼ぎの麻薬密売や、ギャングの使い走り、売春をしながらその日を生きています。

学校へ行かなければ、タガログ語しか話すことができず、読み書きもできません。小学校高学年から習い始める英語の読み書きができなければ、安定した職業に就くこともできません。一生をスラムで過ごすことになり、また次の同じ世代を生み出して、貧困の連鎖が続きます。



しかし、子どもを学校に行かせることは、学ぶことの意味を知らない両親にとって大きな負担です。働き手がひとり減る上に、学用品や制服などを準備するために大金が必要となるからです。それでも、子どもの人生を変え、彼らがスラムから脱出して世代を超えた貧困の連鎖を断ち切るためには、学校に行くことは絶対に必要なのです。ぜひ、一人でも多くの子どもたちに学びのチャンスを与えてください。

ご支援くださる場合は、同封の申込用紙をご覧の上、ネットやお電話、FAX などご都合の良い方法でお申し込みください。締め切りは4月25日(火)です。よろしくお願いいたします。

スマホでのお申込はこちらから⇒

PCからは、

<https://metroworldchild.jp/ph-bac/>



締切
4月25日(火)

常時スポンサー募集中！

お申し込みはこちらから⇒

<https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/>



今月の引き落とし日！

3月16日(木)です。ご確認ください！

今月号の目次

P2…シリア・トルコ地震復興支援活動

P3…フィリピンツアーご案内／世界の子どもたちの現状

P4…日本事務所からのお知らせ

トルコ・シリア地震の犠牲者のため、その裂け目に立って

THE ANSWERS FOR THE

AFTERSHOCK

STANDING IN THE GAP FOR

TURKEY & SYRIA EARTHQUAKE VICTIMS.

地震発生当初から、多くの方々から、トルコとシリアの地震について質問が寄せられています。そしていつものように、私たちは大変重要で実際に役立つ応答を準備しているところです。

先週の木曜日(2月8日)、午後10時4分に電話を受けました。皆さんご存知のように、こういう時、いつも電話がかかってくるのです。

この地震はトルコ南部とシリア北部の、ペンシルバニア州の大きさに匹敵する地域で発生しました。ひどい地震だということは分かっていたのですが、実際にどれくらいの被害状況なのかは想像もつきませんでした。両国の地震による死者は、2月16日現在で41,000人を超えています。今回のトルコとシリアの地震は、史上最悪の地震となり、死者数は増え続けています。

トルコ現地政府は、このような災害に対する備えをしていなかったし、現在もできていません。現時点でシリア政府は、ほとんど存在していないような状態で、特に被害の大きい北部では、多くの過激なテロ集団が互いに争っている状況です。

今問題なのは、残された人々、犠牲者はどうなるのか、ということです。例に洩れず、最も深刻な影響を受ける現実の犠牲者は、いつも子どもたちです。これまでも言ってきたことですが、ここでもう一度言います。地震、飢饉、ハリケーン、戦争が起こると、いつも子どもたちがその渦中で、自分たちが作り出したのではない苛酷な世界で生き抜くことを余儀なくされるのです。

じゃあ、どうするか？

私は地震に遭遇したことがあります。マグニチュード7.8の地震は初めてです。災害後の状況が、地震そのものと同じくらい大変で悲惨なものになることがしばしばです。人生も同じです。多くの子どもたちが孤児になり、厳しい寒さの中で生活しています。私たちはこれまでも、それを目の当たりにしてきましたし、50年の教会人生で何度も経験してきました。災害の最初の混乱が収まった後、その後の状況は、皆が想像している以上に悲惨なものになるのです。

地震のニュースが世界中に流れると同時に、ブルックリンのメトロ本部の電話も鳴り始めました。このような規模の災害に遭遇した時、私たちが、50年にわたる人脈やつながり、支援者による、独自の立場と備えをもって、支援ができることを、多くの方々が知っているからです。だからこそ、「主の御名によって」で迅速かつ効果的に支援することができるのです。

ニューヨークの私たちのチームでは、皆さんの意向を知り、それに適切に応えるために、いただいた質問をまとめ始めました。主

な質問は、いつものように、次の3つでした。

- #1. 実際にどんな支援ができるのか？
- #2. 最大の必要は何か？
- #3. できるだけ多くの人、特に子どもたちを助けたいが、どの団体が信頼できるのか？

この3つのご質問の意味はよくわかります。しかし残念ながら、3番目の質問に答えるのは、いつも難しいことです。テレビや写真、巧妙な広告のアピールを何年も見てくると、しばらくすると、どれもが同じに見え、聞こえるようになります。だから、クリスチャンもノンクリスチャンも、私たちに電話をかけてくるのです。50年間、世界のいたるところで、24時間体制で活動してきた者でしか語れない真実があるのです。

すでに、現地で具体的支援を始めています

そこで、具体的なお支援の提案は、…すでに食料、水、テントの運搬を始めています。数年前、シリアで子どもたちの医療支援や日曜学校をしていた時に、私がロシアのスナイパーに撃たれたのを覚えている方もいるでしょう。その1年後、現地の3人のシリア人クリスチャンと再会するためにアレppoに来てほしいと頼まれました。それで、私たちは北部で共に働き続けることができている。その関係は今、かつてないほど重要なものです。

このキャンペーンのテント製造業者は、ウクライナの防弾チョッキを支援してくれたオーストリアの業者と同じです。ペットボトル入りの水は、毎日トラックで運んでいますし、食料は、これからしばらくは大変重要です。だから…問いかけられた質問に答え、現地でのニーズが満たされている。そういうことです。

被災者に、特に子どもたちを助けるために、あなたの力を貸してください。あなたにできる支援なら何でもいいのです…何ができるかわかりでしょう。もう1度、「必要は召しなのです」。これは共にやるしかないでしょう。

最新情報はまた随時お伝えします…ありがとうございます！

ビル・ウィルソン

ご支援は以下のページをご覧ください。

偽サイトがたくさんありますので、日本からのご支援は、必ず日本事務所からお願いします。

<https://metroworldchild.jp/offering/>



**現地に、直接かつ確実に支援が届けられます。
今、あなたにとって最も効果的な支援方法です。**

フィリピンツアー開催！

先月からご案内をしていますが、皆様からのお問合せもあり、政府もコロナ後を見据えての動きに移行したいという方向性を打ち出していますので、思い切って4月にフィリピンツアーを再開することにいたしました。サポートしていただいている子どもたちに会うチャンスですし、現地の現状を知る貴重な機会です。

日程や予算は以下の通りです。参加人数などにより多少の変動があります。3月15日締切ですので、すぐにご連絡ください

メトロ・フィリピン視察ツアーのご案内

4月13日(木)～16日(日)開催！ お申し込み〆切は3月15日(水)です。

フィリピンの現地視察ツアーの予定をお知らせします。

他の国より、日程的にも金額的にも大変参加しやすいと思いますので、ぜひご検討ください。

参加のご意向のある場合は、以下の内容をお知らせください。お申込用紙をお送りします。

皆様の利便性を考えると、出発地は関東方面になると思います。国内便の接続によっては、16日中にご自宅に戻ることができない場合もありますので、ご了承ください。

お申込はこちら⇒

または、下記アドレスから
<https://x.gd/aT5MB>

お電話、メール、FAXでもお申込いただけます



ツアー日程

4月13日(木)	日本出発(関東方面、午前9時台になる予定)
〃	マニラ着(現地時間、午後1時30分頃)
4月14日(金)	メトロ・スタッフ・ミーティング参加
〃	子ども訪問または現地活動に同行
4月15日(土)	道端教会学校参加
4月16日(日)午前	礼拝参加
〃 午後	マニラ出発(現地時間、午後4時頃)
〃 夜	日本着・解散(関東方面、午後8時頃の予定)

空き時間には、ご意向に合わせて観光や自由時間を入れる予定です。

*ツアー代金は、15万円前後、参加人数によって変動します。

*お住まいの地域から出発空港までの国内移動につきましては別途手配が必要となります。

*現地の気温は35度くらいで、屋外の活動が中心になります。

*ご支援いただいている子どもさんとお会いできますよう、現地のスタッフが調整いたします。

支援を拡大するために

綱を長くし、
鉄のくいを
強固にせよ

—イザヤ書54:2

メトロの子どもたちは、
なぜこんなにも飢えているのか？

何日も食事をしていない子どもは、
神の愛について聞く耳を持っていません。
まずは神の愛を体で体験するしかないのです。

コロナ禍の影響で、子どもたちの飢餓状態は
世界中で拡大しています。

- ・ニューヨークでは、次の食事のめどがない子どもが4人に1人います。
- ・ケニアでは、5歳未満の子どもの死因の第1位が栄養失調です。
- ・世界中で、死亡した5歳未満の子どものほぼ半数が栄養不足でした。

あなたの思いやりをいただいで、メトロは、霊的にも肉的にもキリストのうちに築かれる最高の栄養を子どもたちに与えることができます！—スポンサー場集中です



日本事務所からの重要なお知らせとお願い

現地ツアー再開します！

皆様からご要望をいただいております現地ツアーを再開することにいたしました。

詳細は、レポートの中にお書きしましたが、まず、4月にフィリピンツアーを開催します。当初は春休み中にと考えたのですが、現地の訪問予約がいっぱいで受け入れができず、やむを得ず4月にしました。

土日を使ったツアーですので、ご希望の方は今からお休みの調整をお願いいたします。

他地域からのご希望が多ければ、別ルートを検討いたしますが、今のところ関東方面発着の予定です。万代師が同行いたしますので、ぜひ参加をご検討ください。詳細は3ページで。

！ 違いを生み出す月曜日！

メトロの働きは各国で急激に拡大し、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしくお願いたします。コロナや戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、ケニアでは、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。現地を訪問した若いスタッフは、その悲惨さを目撃して、「違いを生み出す月曜日」のキャンペーンを提案。一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと努力しています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



！ トルコ・シリア地震の支援

現地からの要請に応え、復興支援を始めています。ぜひ周りの方々にご支援をお願いしてください。シリアには、メトロに繋がりのある方々がおり、協力してくださっています。また、トルコは日本と大変繋がり深い国です。

支援が直接現地で生かされる支援方法はなかなかありませんので、どうか一般の方々にもお声かけください。

詳細は2ページをご覧ください。メトロのホームページでご確認ください。

ご支援は、ご希望の金額で、HPからお申込みいただくこともできますし、以下の青枠の中に書かれているメールアドレスやお電話、FAXでお申込みいただけます。

日本事務所よりごあいさつ！

コロナ禍の出口はもうすぐです。聖書にある世の終わりを予感させるような出来事が立て続けに起こり、あなたも知らないうちに傷を負っているかも知れません。主があなたをいやし、力づけてくださいますように祈っています。

今回はまた、トルコ・シリア地震の支援をすることになりました。現地に繋がりのある人々がいますので、メトロでは最も効果的に確実に支援を届けることができます。

あなたの周りにも、何らかの支援をしたいと願っている方々がいらっしゃるはず。名前は知られていても、最終的な経路がわからない支援より、必ず現地に届けることができますので、ぜひメトロの支援をご紹介ください。

また、フィリピンツアーもご検討ください。

春に向えての歩みが祝福され、幸せな日々でありますようにとお祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6

橋ビルII 7階 TFC内

電話 03-6264-7370 (松山事務所 089-992-9020)

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛をお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン